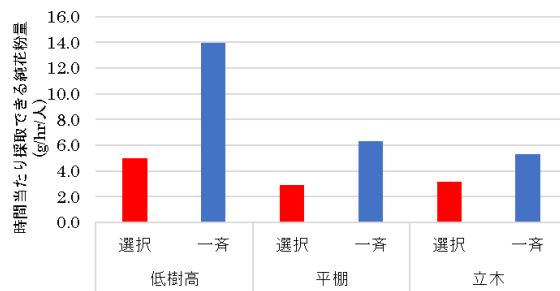
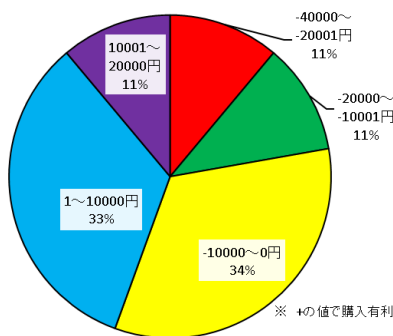
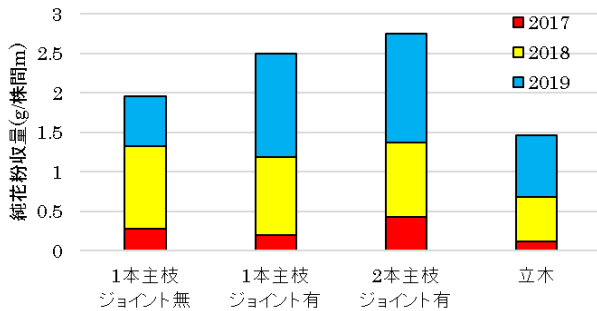


ニホンナシにおける花粉調達の実態と 花粉採取効率向上技術

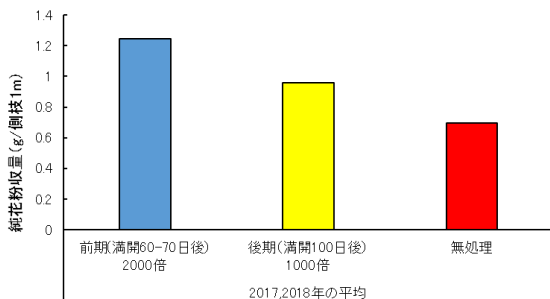
受粉用花粉の調達コストは、アンケートからの試算で約4割の生産者が購入した場合より高くなりました。花粉採取効率を向上させる技術として、品種では、「新興」「松島」の収量性が優れ、採取時期は、五分咲き時の一斉採花、仕立てでは低樹高1本主枝仕立ての作業性が優れます。主枝先端部を隣接樹の主枝基部に接ぎ木するジョイント仕立ては、ジョイントしない場合や、立木仕立てより、植え付け初期の花粉収量が多くなります。また、エテホン剤を処理することで、花芽着生が増え、翌年の花粉を多く採取できます。



花粉調達に関わるコスト
自家労働費用-購入費(10aあたり)
(回答数 18)



樹形および採花方法が時間当たり
花粉採取量に及ぼす影響
(品種：松島)



樹形の違いが定植2~4年目までの花粉
採取量に及ぼす影響 (品種：松島)

エテホン処理が花粉採取量に及ぼす影響
(品種：松島)

注) エテホン剤 (商品名：エスル10) は、現在、花芽着生促進剤としては未登録のため使用できません

本研究は、農研機構・生研センターイノベーション創出強化研究推進事業「国産果実安定生産のための花粉自給率向上に繋がる省力・低コスト花粉採取技術の開発」(課題番号：28016B)の一環として実施しました。

(果樹担当 TEL0480-21-1141)